

尾張南支部

オオブユニティ(株)の バイオガス事業を施設見学



尾張南支部(金田英和支部長)は3月29日(火)支部会員39名が参加して、昨年7月に完成した中部最大のバイオガス発電施設 オオブユニティ(株)リサイクルプラント横根工場(大府市横根町惣作236-1)を施設見学しました。参加者は午前8時30分にアイプラザ半田(半田勤労福祉会館)に集合し視察地に向かいました。当協会からは、環境アドバイザーの相宮良一氏が参加しました。

現地ではオオブユニティ(株)相木徹社長も合流され、廃棄物事業部の藤崎課長や社員の方の出迎えを受け、会議室にて映像を見ながら工場の説明を受けました。

その後工場内に入り、メタンを発生させる機器、破砕機、選別機、メタン発酵槽、脱水機、乾燥機について説明を受けました。発生したバイオガスはガスホルダーに蓄えられ、バイオガス発電機に供給されます。発電設備は、現在の日本の最先端技術を駆使して開発されたものです。発電量は1日15,000kWh、1,500世帯相当の電気を供給します。

参加者からは、食品リサイクルとエネルギーの地産地消に取り組む、オオブユニティのバイオガス事業に賞賛の声があがりました。施設見学後、参加者らは日間賀島へ渡り親睦会にて交流を図りました。